

47都道府県プロフィール
2023年1月～2023年6月

熊本県

「日本語教育演習」 JICA（国際協力機構）パイロット事業で技能実習生が発表

2023年06月02日

6月2日（金）、1121教室で、「日本語教育演習」（担当：塩入すみ外国語学部教授）を履修する学生と技能実習生がチームを組み、「1.写真とプロフィール」「2.学園大で見つけたこと」「3.日本で驚いたこと」をテーマに、発表会を実施しました。これは、外国人技能実習生・特定技能人材受け入れ事業を行う「くまかい協同組合」（熊本市東区）協力のもと、学生と技能実習生が一定期間交流するしくみを通して、技能実習生の日本語学習と日本人学生の日本語教育実践、技能実習生が日本での社会生活に馴染むためのサポートの提供を目的に、JICA（国際協力機構）が行うパイロット事業と連携した取り組み

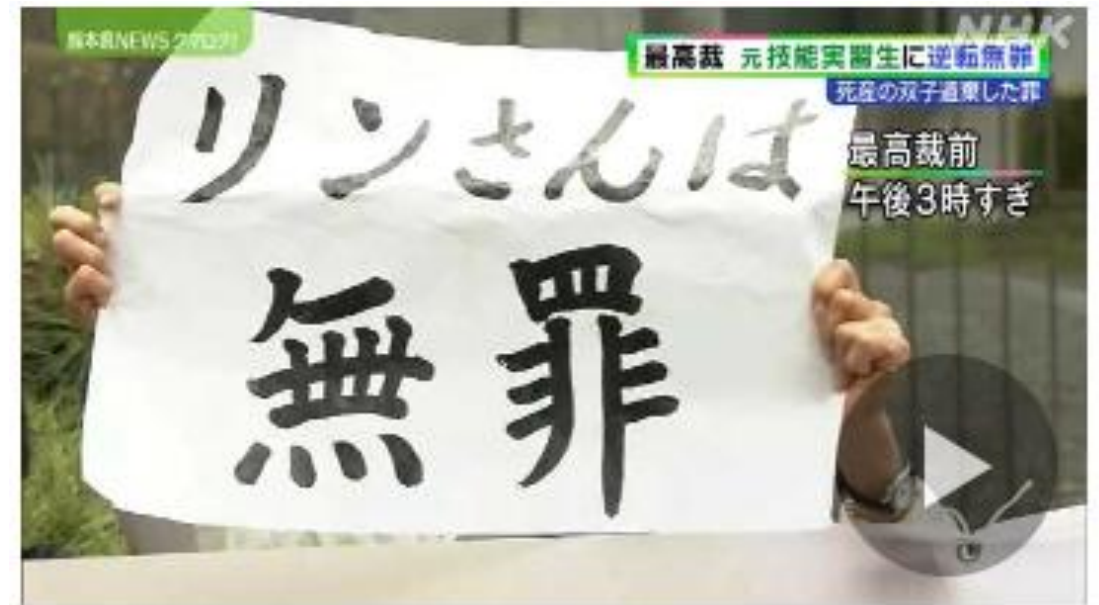


<https://www.kumagaku.ac.jp/news/archives/3482>

ベトナム人元技能実習生の死体遺棄罪の裁判 最高裁で逆転無罪

2023年03月24日

3年前、熊本県芦北町で死産した双子の赤ちゃんを自宅に遺棄したとして、死体遺棄の罪に問われたベトナム人の元技能実習生の裁判で、最高裁判所は執行猶予のついた有罪とした1審と2審の判決を取り消し、逆転で無罪を言い渡しました。リンさんの行為について「自宅で出産し、死亡後まもない遺体をタオルに包んで箱に入れ、棚に置いていた。他者が遺体を発見するのが難しい状況を作り出したが、場所や遺体の包み方、置いていた方法などに照らすと、習俗上の埋葬と相いれない行為とは言えず、『遺棄』にはあたらない」と判断し、1審と2審の有罪判決を取り消して逆転で無罪を言い渡しました。

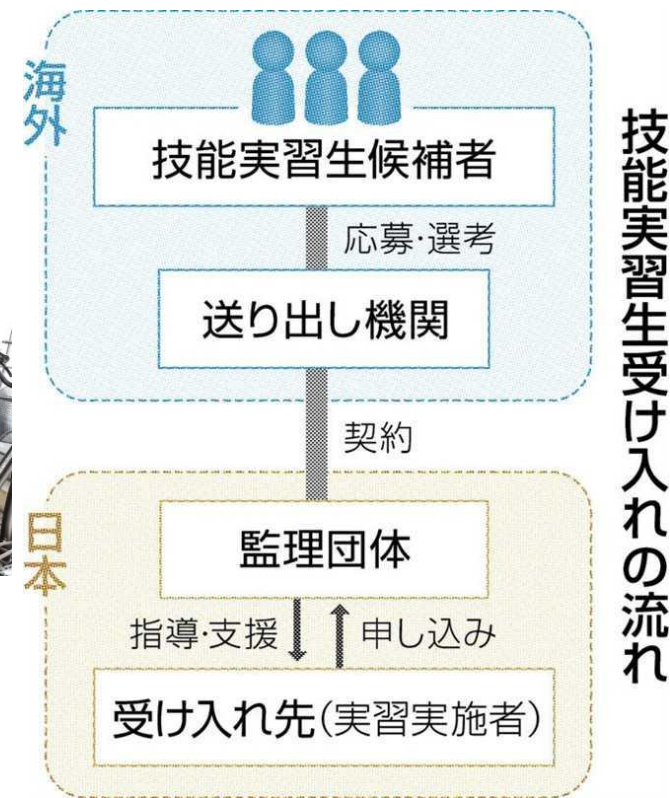


<https://www3.nhk.or.jp/lnews/kumamoto/20230324/5000018584.html>

外国人技能実習生の失踪 「受け入れ側に問題」だけ？ 失踪や途中帰国でも補償なく 農家「リスク丸抱え」

2023年02月08日

全国各地で受け入れている外国人技能実習生。実習生が失踪すると、受け入れ先は「ひどい仕打ちをしていたのではないか」と見られがちだ。ただ、実習生に逃げられた経験がある熊本県内の農家からは「受け入れ側に責任があるケースばかりではない」との声も漏れる。実習生の受け入れから1年がたち、良好な関係を築いているつもりだった。「給与も勤務時間も当初説明した通り。楽な作業ではないが、失踪は裏切られたようでつらかったですよ」2人の失踪で突然、人手不足に陥ったAさんは、定植に向けて購入していた50万円分の野菜苗の廃棄を強いられた。生産量は当初計画の7割まで減った。



47都道府県プロフィール
2023年7月～2023年12月

熊本県

老いる町で急増する外国人 高齢者と若い外国人が共生する課題とは

2023/10/25

工業地帯につながる一本道の路側帯を自転車で走る外国人たち。一列に整然と並び、その脇を車が走り抜ける。熊本県長洲町では見慣れた朝の通勤風景だ。この町に住む外国人は20年前に比べ20倍に増えた。3人に1人が65歳以上という「老いる町」には高齢者と若い外国人が隣り合わせに住んでいる。外国人の受け入れを進める日本の将来を予感させる現場を記者が歩いた。 「おはようございます」。7月中旬のある朝、自転車で通勤する外国人女性が近くに住む自治会役員の松下進さん（84）に頭を下げ、あいさつした



通勤途中の外国人らにあいさつする松下進さん
（左）＝熊本県長洲町で2023年7月20日午前8時18分、宮川佐知子撮影

<https://mainichi.jp/articles/20231023/k00/00m/040/087000c>

県の子育て世帯の悩み相談 A I 英語・韓国語など 多言語対応に

2023/12/06

子育て世帯の悩み相談について、A I = 人工知能が回答してくれる熊本県の L I N E アカウント「聞きなっせ A I くまもと」に英語など多言語機能が搭載されました。「聞きなっせ A I くまもと」は子育て世帯の抱える困りごとや悩み相談に対応しようと、県が 2 0 1 9 年に開設した L I N E アカウントです。子どもが発熱やけがをした時の対応や保育園の空き状況などについて L I N E でメッセージを送ると A I が 2 4 時間、無料で回答してくれます。



久留米市が外国人技能実習生向けに防災講座 避難経路など指導

2022/6/21

外国人技能実習生に災害時の避難経路などを教える講座が18日、久留米市北野町で開かれた。町内に住む外国人は約500人で、日本語をうまく話せない人もいる。5年連続で浸水被害に見舞われている北野町での防災に役立ててもらおうと、市と地元のまちづくり振興会が初めて企画した。



地図で避難経路を確認する外国人技能実習生

<https://www.nishinippon.co.jp/item/n/943439/>

宮崎にベトナム人が多い理由は？農業人材の確保へ県が連携強化

2022年10月22日

宮崎で働くベトナム人は2400人と県内の外国人全体の半数近くを占めています。こうした状況は宮崎だけのものではなく、おとなりの鹿児島でも2021年10月末時点で、ベトナム人の数は4815人と外国人労働者の半数以上を占め、最多となっています。では、なぜベトナム人労働者が増えているのか？ベトナム人の技能実習生を雇っている方にお話を伺うとうとう「勤勉で家族思いという人柄が多い」という印象で、雇うことに関心を抱く経営者が一定数いるそうです。また、すでに宮崎や日本にきたベトナム人実習生がいることで、実習先として選ぶ際も安心感があるということです。SNSなどで宮崎にくる前から連絡をとって、情報を得ている場合もあり、現地でも日本語学校があるなど、既にある程度のルールができあがっているといえます。



<https://www.nhk.or.jp/miyazaki/lreport/article/001/84/>